

はじめに

様々な情報メディア等の発達や普及、子どもの生活環境などの変化に伴い、子どもの「読書離れ」が問題になっています。また、それらを背景として、読書や活字に関する法律等が相次いで施行されています。

平成13年12月には、子どもの読書活動を国を挙げて支援するため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律に基づき、平成14年8月には、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定され、平成14年から18年までの5年間の施策の基本的方向と具体的な方策が示されました。また、平成17年7月には、「文字・活字文化振興法」が公布され、文字・活字文化の振興を総合的に推進するための国や自治体の基本的責務が定められました。

本県においては、平成11年度から、「栃木の子どもをみんなで育てよう」運動を推進する中で、『本の時間』をつくろう」をスローガンとして掲げ、家庭、地域、学校において読み聞かせや読書の時間を設けて、大人が子どもとともに本に親しむことや、読書を通じて子どもの豊かな心や創造性をはぐくむことを期待して、啓発・広報活動を展開しています。平成16年2月には、県内のすべての子どもたちが、あらゆる機会や場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組むための環境づくりを目指した「栃木県子どもの読書活動推進計画」を策定し、以後5年間にわたって様々な取組を推進しています。この推進計画は、平成21年度からの第二期計画に継続される予定です。

本調査は、推進計画の一環として、学校図書館の一層の活性化を図るために、県立学校の取組を紹介するものです。取り上げた数々の事例は、各校の担当の方々が限られた予算の中で知恵を出し、工夫を凝らして、学校図書館の活性化に尽力されているものばかりです。

学校図書館は、自由な読書活動や読書指導の場である「読書センター」として、また、児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する「学習情報センター」として、学校教育の中核的な役割を担うよう期待されており、その機能の充実が求められています。本資料が、各校の学校図書館の活性化の一助として活用されることを期待しています。

おわりに、本資料集の作成にあたって、調査に御協力をいただいた県立学校及び学校図書館の担当の方々に、心から御礼申し上げます。

平成20年11月

栃木県総合教育センター所長

鈴木 健一

目 次

調査の概要

第1章 オリエンテーション

- 1 演習を取り入れたオリエンテーション 1
- 2 ブックトークを取り入れたオリエンテーション 4

第2章 ディスプレイ

- 1 季節感を演出するディスプレイ 6
- 2 効果的に図書を紹介するディスプレイ 7
- 3 小道具による表示や演出 7

第3章 図書の紹介

- 1 新着図書の紹介 8
- 2 学年別の図書紹介 8
- 3 ポップ 9
- 4 図書館報・図書館だより 9
- 5 推薦図書のリストや紹介文 11
- 6 学校図書館以外の場での図書の紹介 12

第4章 テーマ別の図書のコーナー

- 1 新着図書のコーナー 13
- 2 「総合的な学習の時間」のコーナー 13
- 3 小論文対策コーナー 14
- 4 推薦図書や課題図書のコーナー 14
- 5 「図書館だより」で紹介した図書のコーナー 15
- 6 栃木県に関する図書のコーナー 15
- 7 映画化・テレビドラマ化された図書のコーナー 15
- 8 ブックトークに使用した図書のコーナー 16
- 9 「源氏物語」コーナー 16
- 10 「新生活準備OK?」コーナー 16
- 11 修学旅行の関連図書のコーナー 17
- 12 校内模擬試験に出題された図書のコーナー 17
- 13 ライトノベルズのコーナー 17
- 14 絵本コーナー 18
- 15 漫画コーナー 18
- 16 児童生徒の作品のコーナー 19
- 17 教職員・保護者向けの図書のコーナー 19
- 18 返却図書のコーナー 19
- 19 学級文庫 20
- 20 廊下やロビーの図書のコーナー 20
- 21 様々な特設のコーナー 21

第5章 図書を探しやすくする手立て

1 検索ガイド・館内案内図	23
2 著作者の50音順・アルファベット順の表示	23
3 日本十進分類法の詳しい表示	23
4 図書の一覧	24
5 図書と一緒に帯もコーティング	24
6 書架の整理	25
7 表紙を見せる展示	25

第6章 図書の購入

1 生徒による図書の購入	26
2 20冊単位での図書の購入	27
3 図書の購入希望	27

第7章 図書の貸し出しと返却

1 図書の借り方・返し方に関する掲示	28
2 C A S Aの操作	28
3 手書きの貸し出し簿や個人カード	29
4 返却ボックス	29

第8章 各種の活動と取組

1 全校一斉の読書活動	30
2 教科との連携	30
3 ブックトーク	31
4 読書会	31
5 教養講座	32
6 読書へのアニメーション	33
7 各種コンクール	33
8 多読賞	34
9 製本講習会	34
10 小学校での読み聞かせ	35
11 紙芝居、ペープサート、パネルシアター等	36
12 貸し出し状況の広報や掲示	37
13 読書ノート・読書カード	38
14 図書委員会の合宿	38
15 図書委員会の会報	38

第9章 環境整備

1 調べ学習用のパソコンのコーナー	39
2 防音対策	39
3 机上の整理	39

編集後記	40
------	----

調査の概要

1 調査の目的

創意工夫を凝らした読書指導や運営によって、学校図書館の活性化に努めている実践事例を収集して資料集を作成し、学校図書館の活性化に資する。

2 調査方法

訪問による聴き取り調査

3 調査時期

平成20年5月～8月

4 調査協力校

- ・ 栃木県立宇都宮高等学校
- ・ 栃木県立宇都宮女子高等学校
- ・ 栃木県立鹿沼東高等学校
- ・ 栃木県立日光明峰高等学校
- ・ 栃木県立栃木翔南高等学校
- ・ 栃木県立茂木高等学校
- ・ 栃木県立大田原女子高等学校
- ・ 栃木県立のぞわ特別支援学校
- ・ 栃木県立宇都宮東高等学校・附属中学校
- ・ 栃木県立宇都宮商業高等学校
- ・ 栃木県立今市工業高等学校
- ・ 栃木県立小山西高等学校
- ・ 栃木県立真岡女子高等学校
- ・ 栃木県立烏山女子高等学校
- ・ 栃木県立聾学校
- ・ 栃木県立足利特別支援学校